

## 天溪 2015 年「カナディアンロッキーとオーロラ 10 日間」

「カナディアンロッキーとオーロラ 10 日間」を9月22日～10月1日に行いました。

カナディアンロッキーのバンフは北緯 51 度、3 日滞在すればどこかでオーロラが見えると言われるイエローナイフは北緯 62 度。2 点の距離は約 1200Km, 飛行機で 2 時間半余りです。そこでロッキーの紅葉とオーロラを合わせて体験していただくツアーを企画しました。それも紅葉の大自然が満喫できるスコーキロッジに 2 連泊する贅沢な内容で。

※参考:北極圏とは北緯 66 度 33 分以北の地域、真冬(冬至)に太陽が昇らず(極夜)、真夏(夏至)に太陽が沈まず(白夜)。



(フォッスル・マウンテン 9/27 日)

### ○センチネル・パス

オイルなど鉱物資源の産業が発達し、税金が安いカルガリーはここ数年人口が急増中。そんなことから週末になるとレイクルイーズやモレーンレイクは日帰り観光客で賑わい駐車場の確保も大変です。その上部のラーチバレーは紅葉が深まり、連山の新雪と相まって素晴らしい景色。この日は夏の表銀座コース並みに大勢の人々が過ぎ行く秋を楽しみながらハイキングをしていました。



(デンピークス 9/26 日)





## ○スコーキへ 1 日目

入山初日は天気こそ良かったものの冷たい風が吹きおろし、下山者は赤ら顔。今回もパッカーズパスを越え、スコーキレイクへ下り、スコーキロッジを目指しました。このパス越えは通常復路に使われますが、大自然のインパクトを高める為、朝は湖畔の石が霜で滑りやすい等を考慮しての選択です。

今夜 9/27 日は北米や欧州などで「スーパームーン」の皆既月食が見えるビッグな夜。これは 33 年振りの珍しい現象で、次回は 18 年後の 2033 年とか。と言う事で赤黒く大きな皆既月食を期待しましたが、不運にも月食は雲に隠れて進み、その雲が取れたのは殆ど終わったころでした。



(スコーキレイク 9/27 日)



## ○スコーキ 2 日目

今朝は放射冷却でマイナス 6 度、もうすっかり初冬の気温です。日が射せば暖かいので、マリーンレイクを越えマリーンリッジ手前まで登ってきました。見渡す限り広がる大自然の中に私達だけ、何とも贅沢な紅葉を楽しみました。カナディアンロッキーの紅葉は赤色が無いので黄葉です。(為念)



(マリーンレイク上部 9/28 日)



再びのスコーキロッジを訪れて

ランプの明かりに山を語り合う

(T.S さんの句)

○スコーキ 3 日目

昨夜は全く雲のない星空に、一日ずれば最高の皆既月食が楽しめたなどと思いながらスコーキロッジを入れて天体撮影。拡大すれば分かりますが北斗七星が映っています。上手く行けばこの方向にオーロラが出ても良いのですが。(事実、私達が来る数日前にバンフで見えたとの事)



(ターミガンピーク 9/29 日)



### ○イエローナイフのオーロラ

オーロラ(ノーザンライト)は一般的に冬に現われると思われがちですが、実は一年中現われます。ところが夏見えにくいのは当たり前で高緯度は中々暗くなりません。この度訪れたイエローナイフはオーロラベルトの中に有り、3日滞在すればどこかで見えると言われ、8月に入るとオーロラウォッチングが始まります。そんな訳で紅葉とオーロラの2頭を追いましたが、写真の無いのは見えぬ証。 私達の到着前日はレベル4の綺麗なオーロラが出た様ですが、到着した夜に少し見えてから、その後2日はミゼラブル。 オーロラ出現時刻(23時~3時)に何故か雲が現れ雲隠れ。 残念、無念また来年。 追記:秋のオーロラはその姿を湖に映し、最低気温が零度前後で写真家に喜ばれるそうです。



(紅葉のイエローナイフ 9/23日)



次は今年最後のツアー、11月13日発「アンナプルナ内院 13日間」をお伝えします。

記 天溪 赤沼